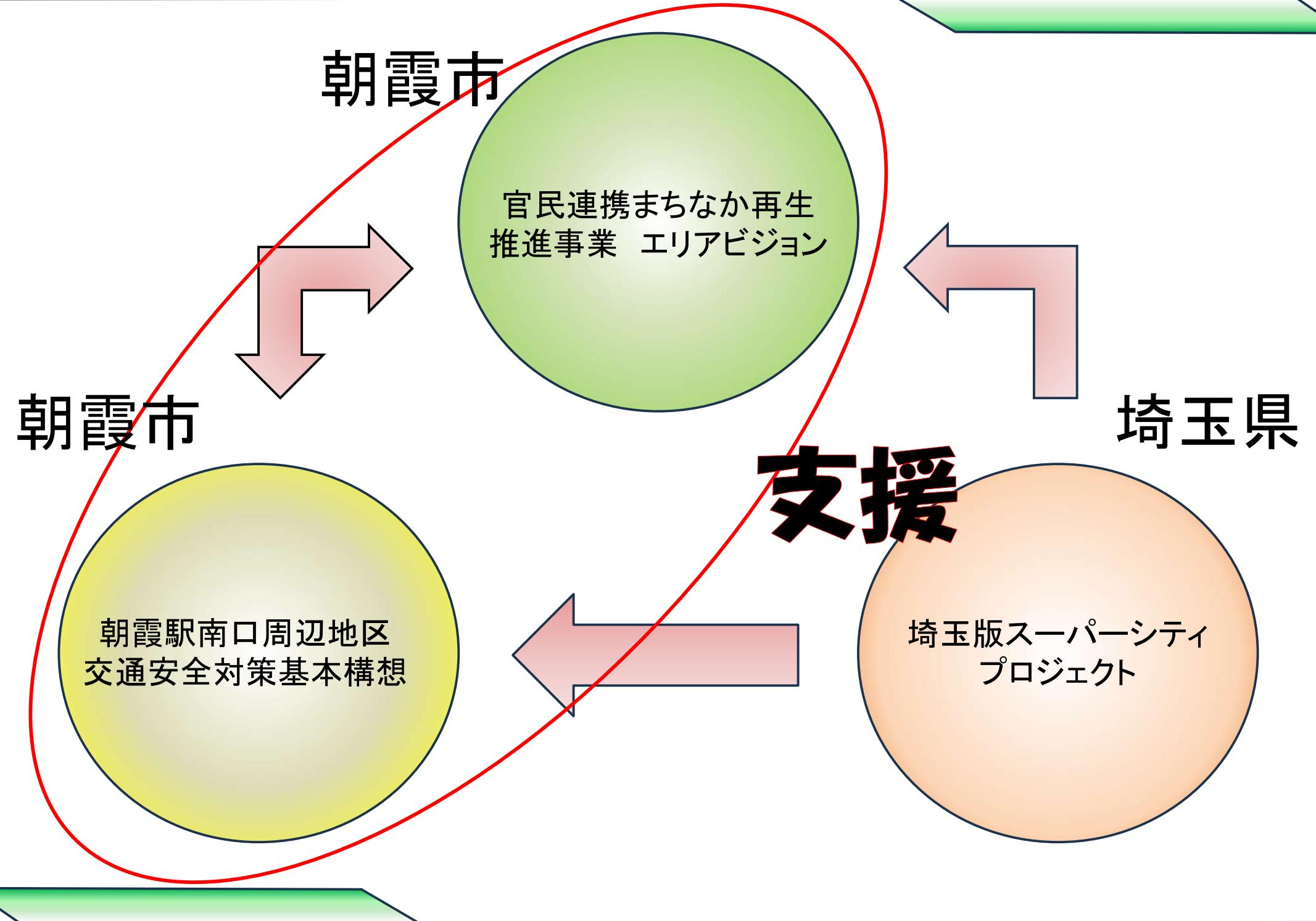


主要地方道朝霞蕨線 無電柱化事業 説明会 次第

令和8年1月29日(木)15時～16時
朝霞市役所 5階 大会議室

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 担当者紹介
 - (1)埼玉県朝霞県土整備事務所
 - (2)朝霞市都市建設部
- 4 事業説明
 - (1)まちづくりについて
 - (2)事業概要・設計計画について
 - (3)工事・事業のフローについて
- 5 質疑応答
- 6 閉会

1. まちづくりについて



埼玉版スーパー・シティプロジェクト

朝霞市

朝霞駅周辺エリア

朝霞市版スーパー・シティプロジェクト ~人と縁が活きるウォーカブルなまちづくり~

概要 官民連携による公園や街路空間等の利活用や、自然が持つ機能の最大限の発揮を軸に、『居心地が良く、歩きたくなるまち』と、『魅力的な商業エリア』の創出を図る。そのため、①道路空間の再構築や低未利用地の活用を通じた、人を中心のウォーカブルな空間の創出、②地域のシンボルとなる豊かな自然の機能を活かした、グリーンインフラの整備、③災害時にも機能するフェーズフリーなまちづくりに取り組む。

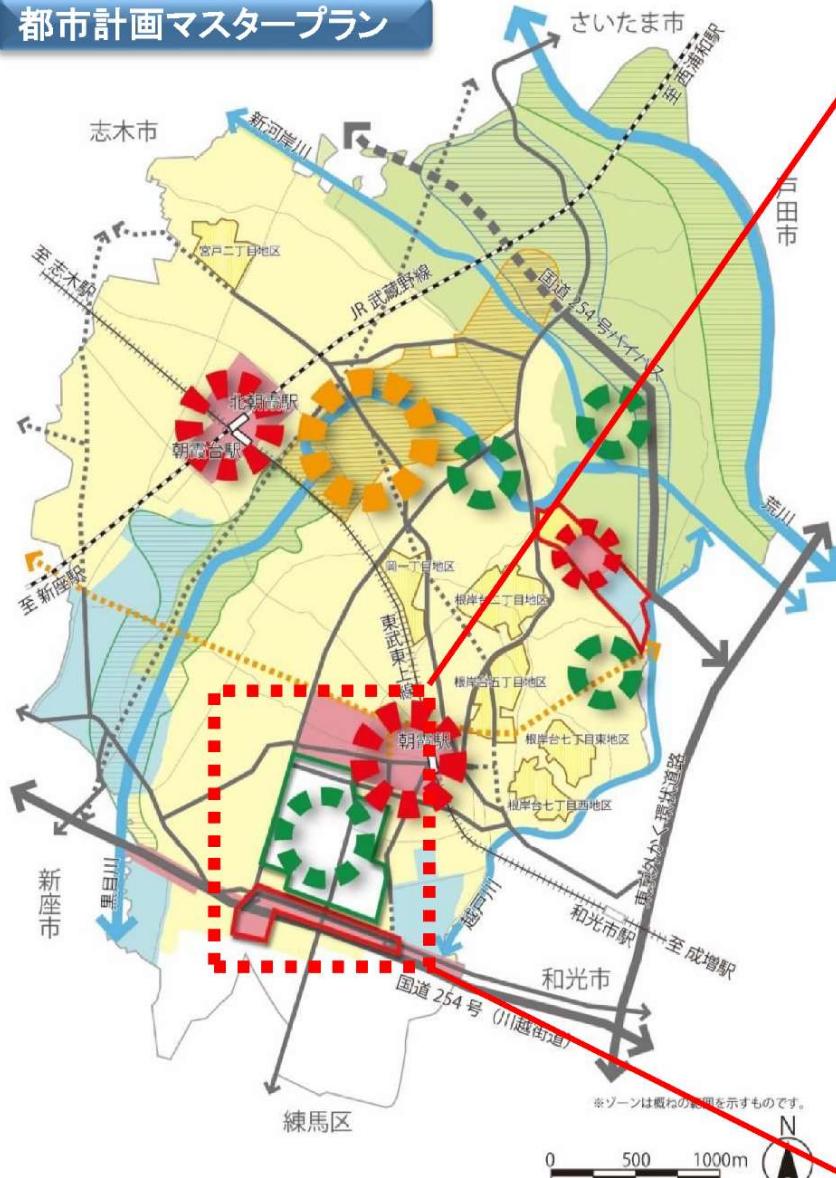
課題

- ・歩行空間が不足する駅前通り等について、歩行者中心の道路空間へと再編し、安全で快適に歩ける道へ転換する必要。
- ・シンボルロードや黒目川など地域のシンボルとなる縁の拠点の魅力向上や、グリーンインフラの考え方を取り入れた公共空間の整備を行うとともに、駅周辺からの回遊性の向上が必要。
- ・災害時に活用可能なエネルギーの確保や、防災情報の効果的な発信を通じた、災害にも強いまちづくりが必要。

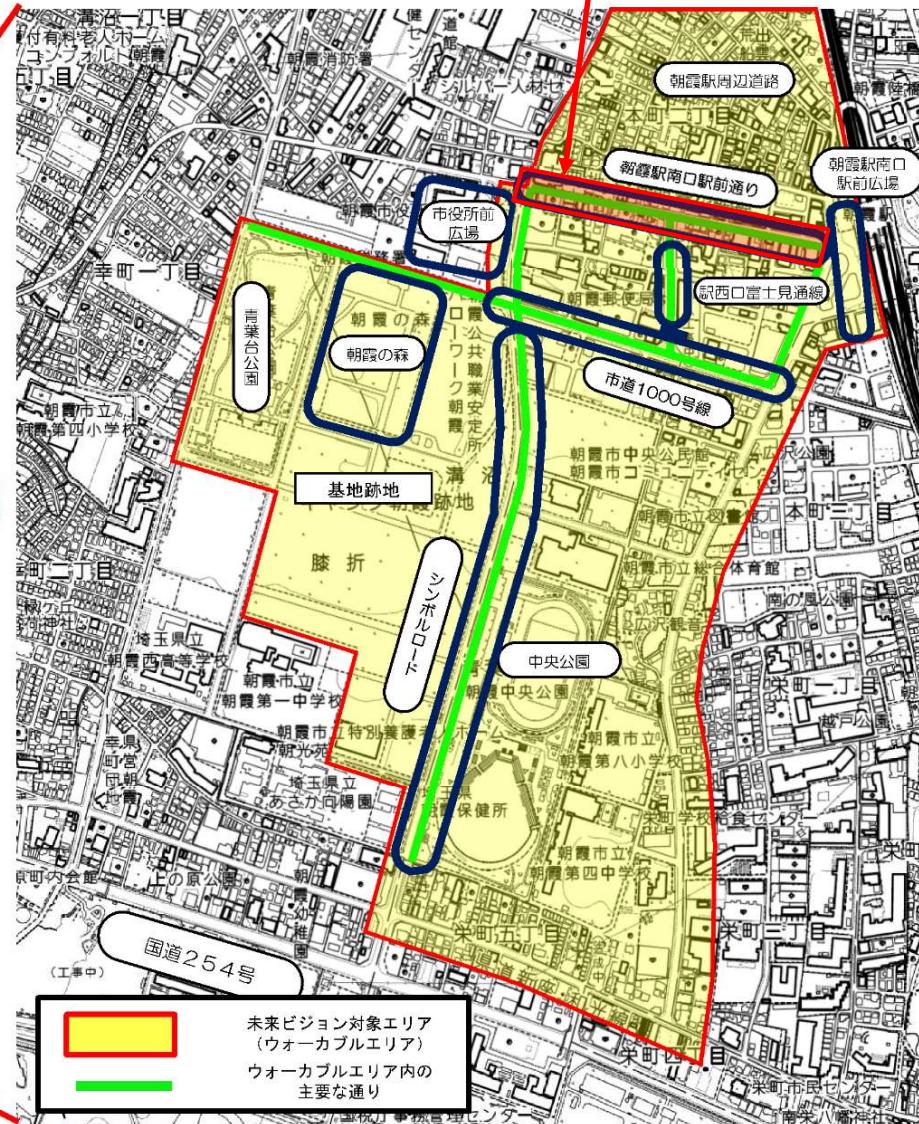
	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	・ウォーカブルなまちづくり	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> ・道路空間の再配分による歩行者中心の道路空間整備 ・縁の拠点であるシンボルロードのほこみち指定に基づく賑わい向上や、黒目川の魅力発信 ・公共空間を活用した多様なイベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゾーン30プラス等交通安全対策の実施 ・歩行者利便増進道路指定に基づく休憩施設や利便施設の設置 ・公共空間を活用したイベントの開催 ・商店街の活性化支援
スマート	・ICT技術を活用した情報伝達や移動手段の充実	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルサイネージ等を活用した地域イベント情報や災害情報の発信 ・ビッグデータやデバイスを活用した交通安全対策と回遊促進 ・シェアサイクルサービスの高度化 ・都市計画情報等、まちづくりにかかるデータのオープン化 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害情報のデジタル化 ・デジタルサイネージの導入・運用 ・ビッグデータの取得・活用 ・シェアサイクルサービスの高度化 ・GISの導入・活用
レジリエント	・災害にも強いフェーズフリーなまちづくり	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンインフラの機能を取り入れたインフラ整備 ・再生可能エネルギーを活用した災害時の電源確保 ・主要道における無電柱化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンインフラの導入にかかる技術支援(雨水貯留・流出抑制施設等) ・災害時にも活用可能な電源供給施設の設置 ・簡易な無電柱化に係る技術支援

取組エリア

都市計画マスタープラン



朝霞駅周辺エリア



本事業箇所

賑わい創出エリア

あさかエリアデザイン会議 エリアビジョン

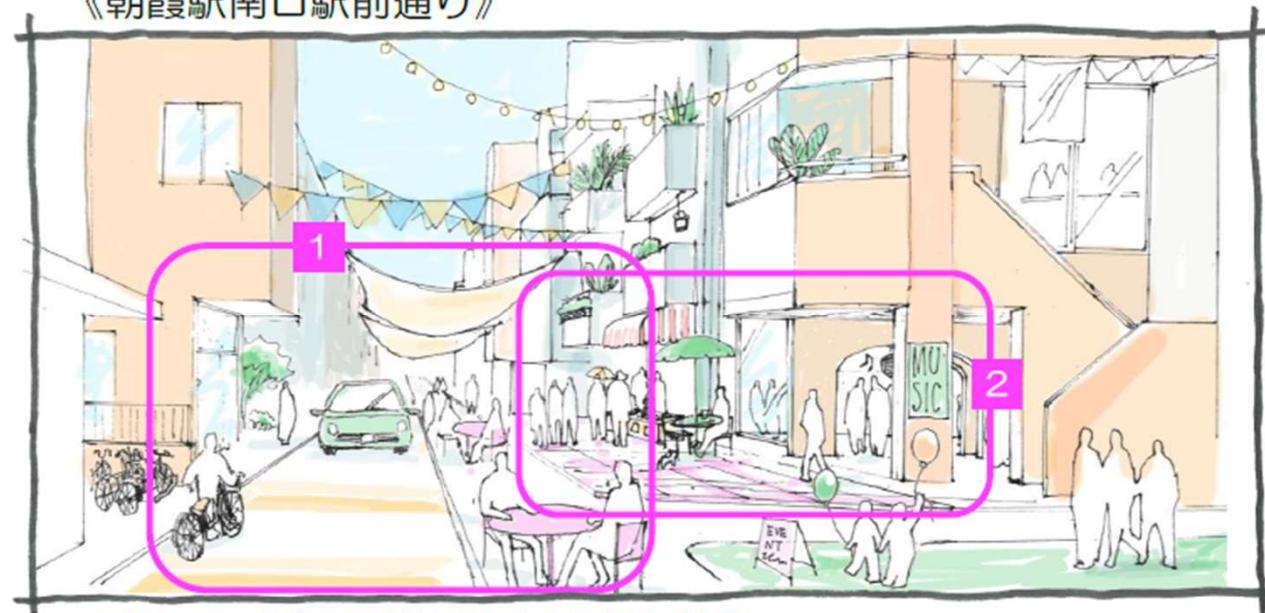
2 朝霞駅南口駅前通り及び周辺道路【EN-GAWA 縁側】

交通を整理し、歩く人を大切にするみちへ

安全な歩行空間を実現し、軒を連ねる店舗から賑わいが滲み出し、顔なじみの笑顔と声掛けが生まれる

『縁側』のような場所へ。予定外の買い物をしてしまったり、ついつい道端で世間話に花を咲かせてしまうような、歩きたくなる『人の道』です。

《朝霞駅南口駅前通り》

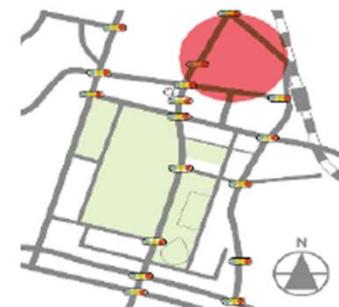


空間イメージ 安心して利用できる歩行空間の実現

- ・ 安心できる歩行空間のあるエリア
- ・ まちの賑わいを創出する
- ・ 多様な人々の交流が生まれ、活気を創出するエリア

取り組みの方向性

- ◆ 一方通行化等の交通規制により、必要な交通機能を確保しながら、歩行者空間の安全性を確保する。
- ◆ 車と人、自転車が共存する空間へと転換し、より多くの人々で賑わう商店街を創出する。
- ◆ 「人と人、人とまちのつながり」を生み出す拠点として、イベント開催を積極的に行い、市全域の発展へと繋げる。
- ◆ 店舗の賑わいが屋外までにじみ出すような、多様な利用を創出する。
- ◆ 無電柱化やユニバーサルデザイン化を推進する。



日常的な朝霞駅南口駅前通りの様子

- 1 車道の有効活用
歩行者天国実施や、一方通行化など
2 店舗前空間の有効活用
店舗内の賑わいを屋外まで滲み出させる

イメージ



朝霞駅南口周辺地区交通安全対策基本構想

5-5 取り組みの実施後のイメージ

1. 朝霞駅南口駅前通り

<現状>

- 車道幅員が限られるなか、路線バスが路側帯に乗り上げないと他の車とすれ違うことができないことがあります
- 歩道は部分的についているのみで、電柱があるため路側帯も歩きにくい環境です



<将来イメージ>

- 道路空間の再配分により、両側に歩きやすい歩道が生まれます
- 無電柱化により見通しも改善し、歩行者と車が接触する危険が軽減されます



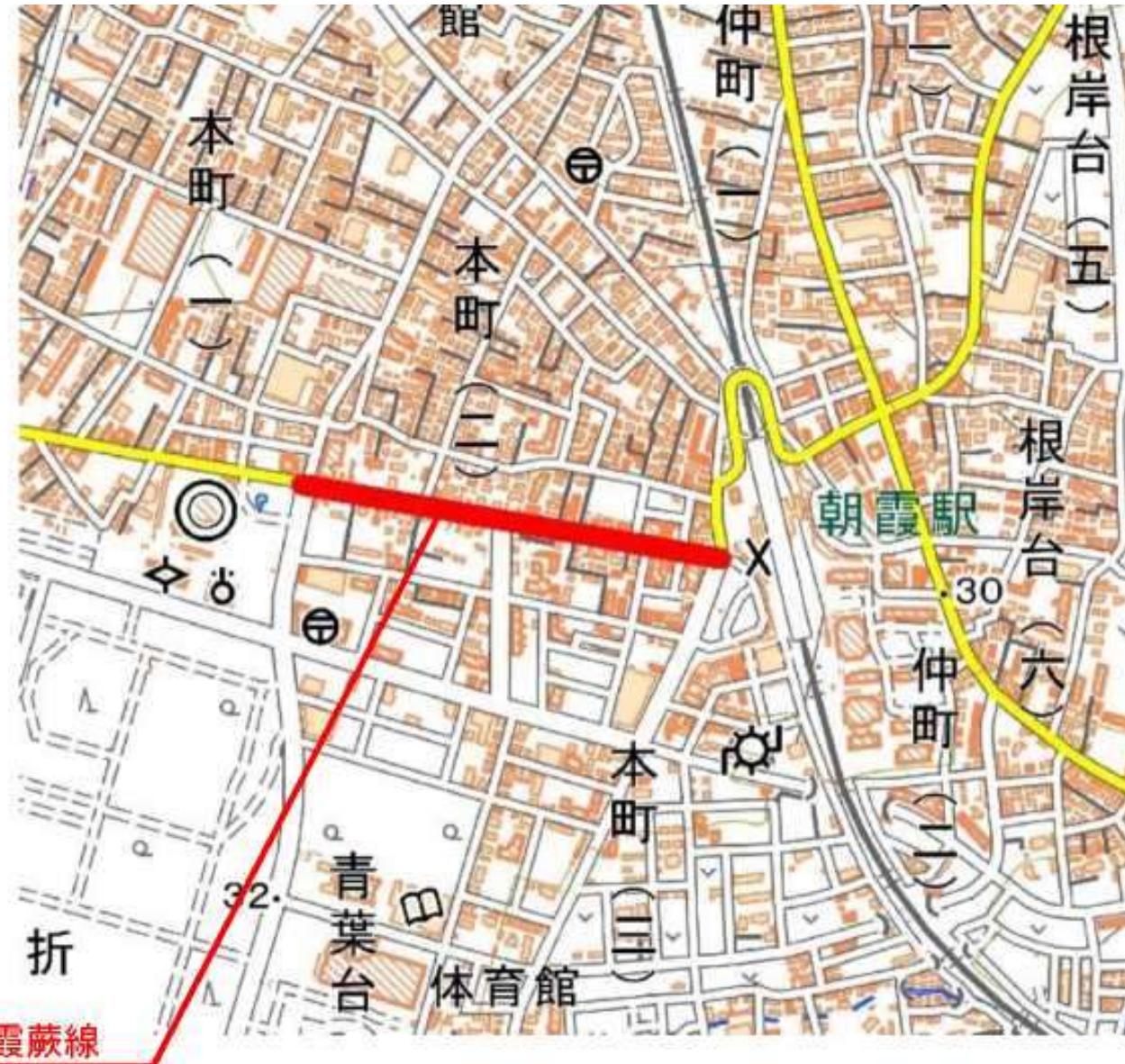
2.事業概要・設計計画 について

事業概要

路線名: 主要地方道朝霞蕨線
(朝霞駅南口駅前通り)

延長: 440m

幅員: W=7.0m~10.0m



▲位置図

整備イメージ・効果

電線共同溝前



電線共同溝後



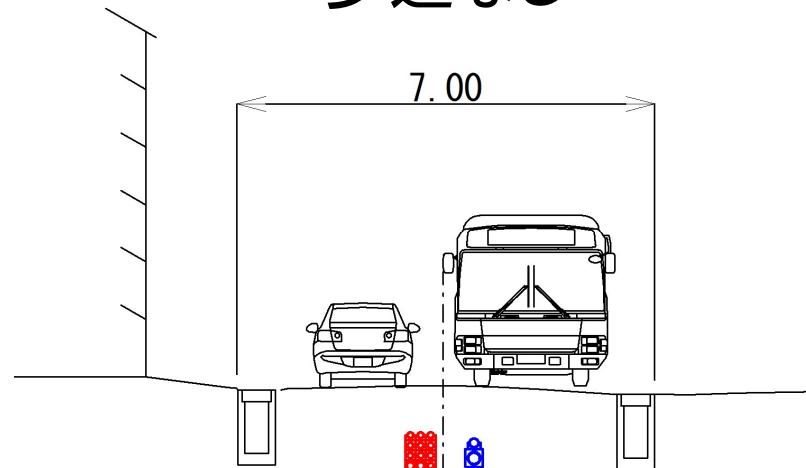
都市計画道路3・4・3号中央通停車場線(志木市)



都市計画道路8・7・7(6)鐘つき通り線(川越市)(提供:川越市道路街路課)

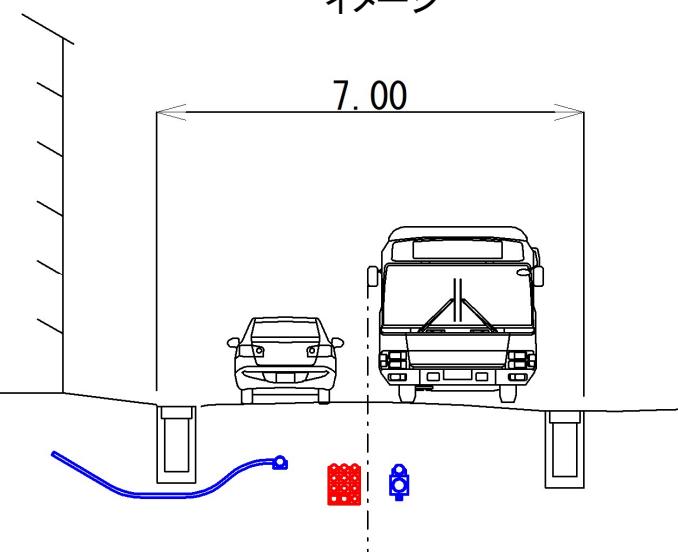
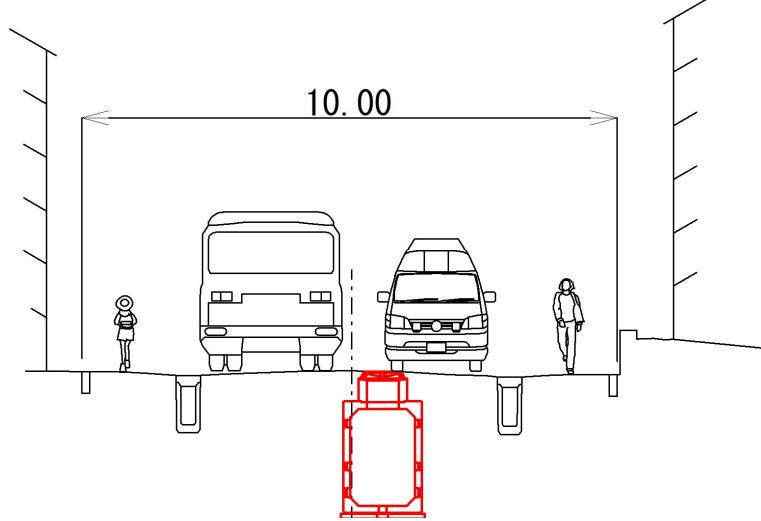
道路幅員

歩道なし

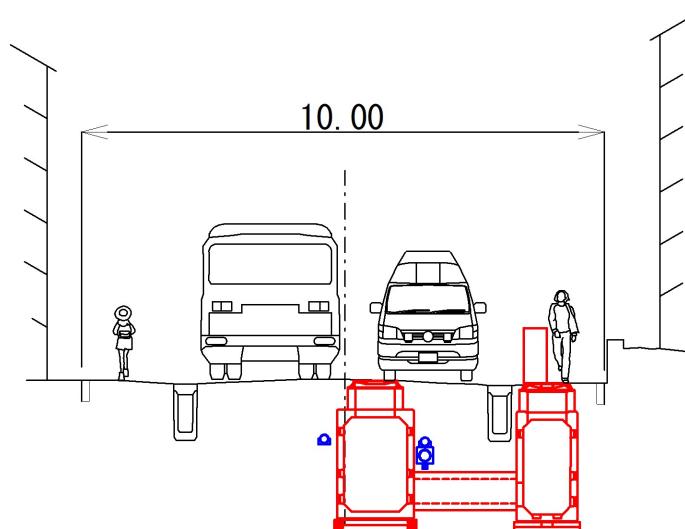


イメージ

歩道あり



▲No. 5～No. 21付近

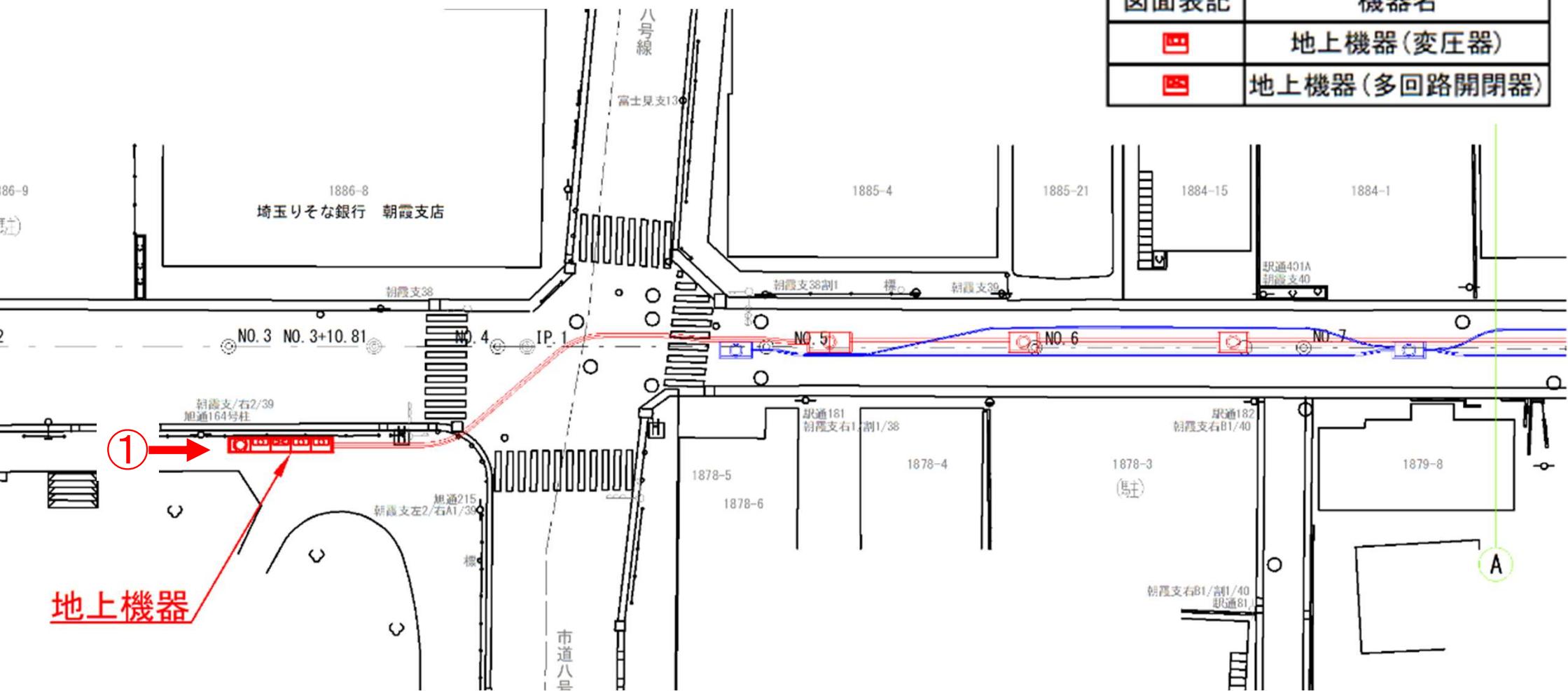


▲No. 21～No. 25

無電柱化計画

CCB計画管路凡例

地上機器凡例	
図面表記	機器名
■	地上機器(変圧器)
■	地上機器(多回路開閉器)



※図面は設計段階のものであり、今後変更する可能性がございます。

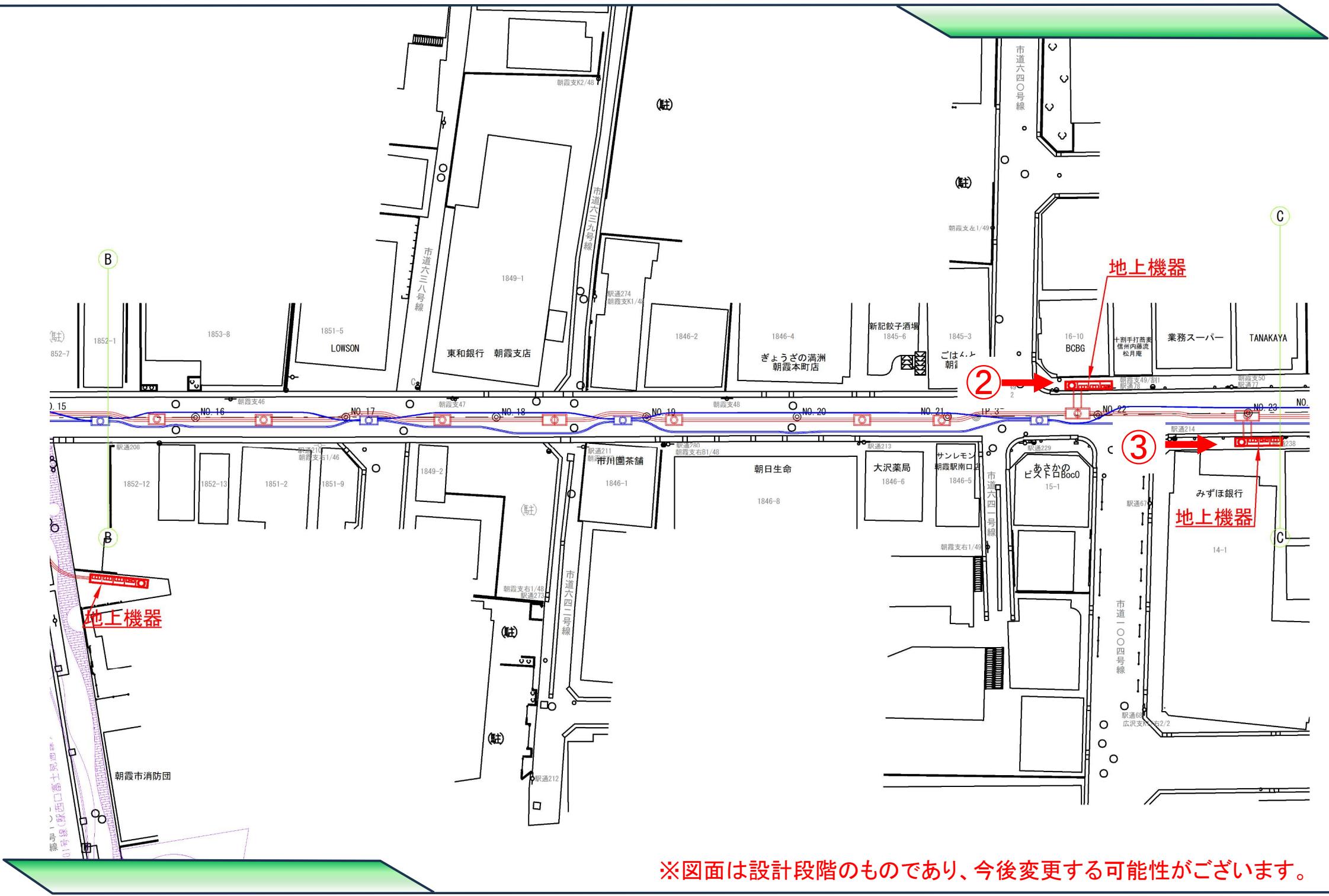
地上機器イメージ

①市役所前





※図面は設計段階のものであり、今後変更する可能性がございます。

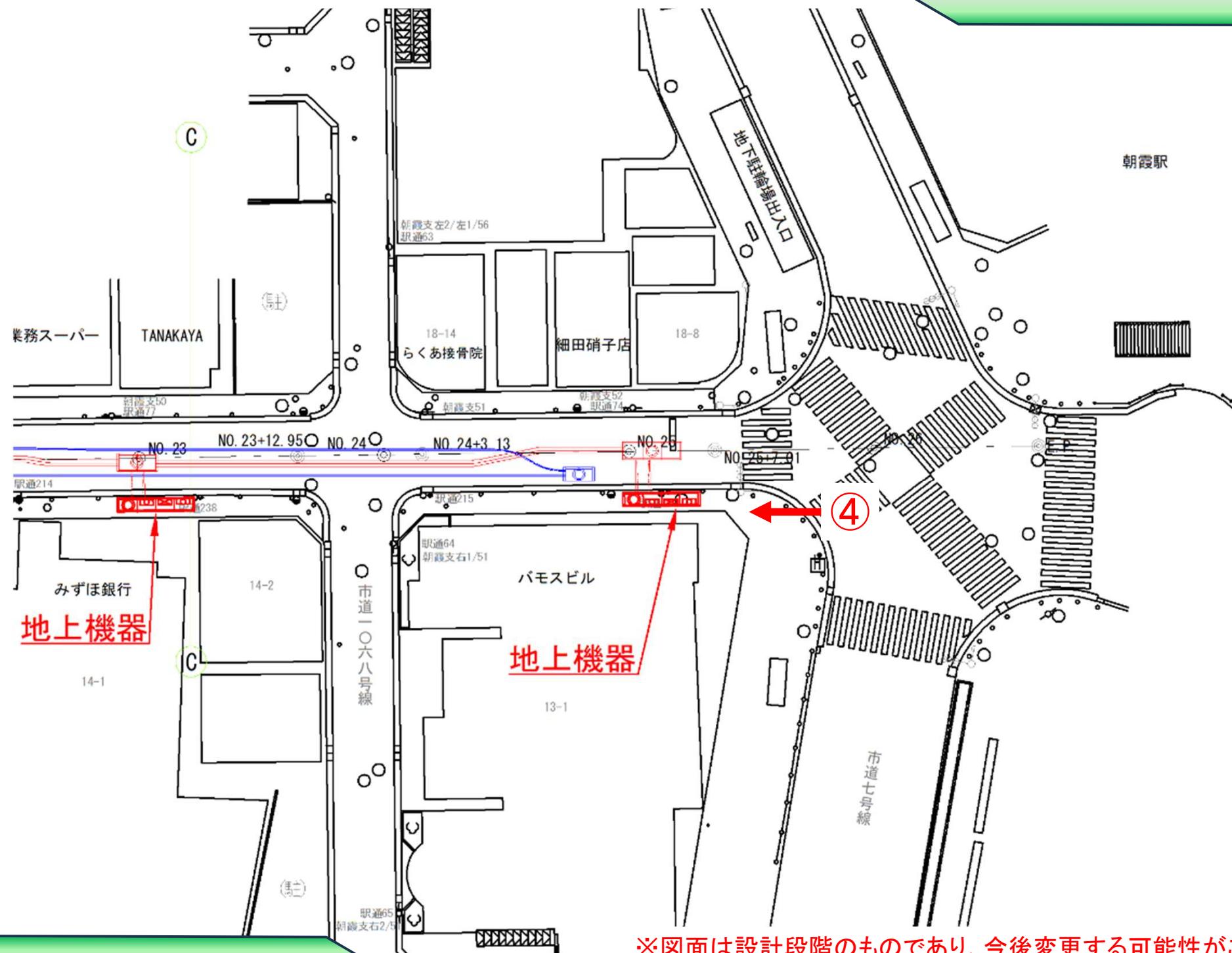


②北側歩道



③南側歩道

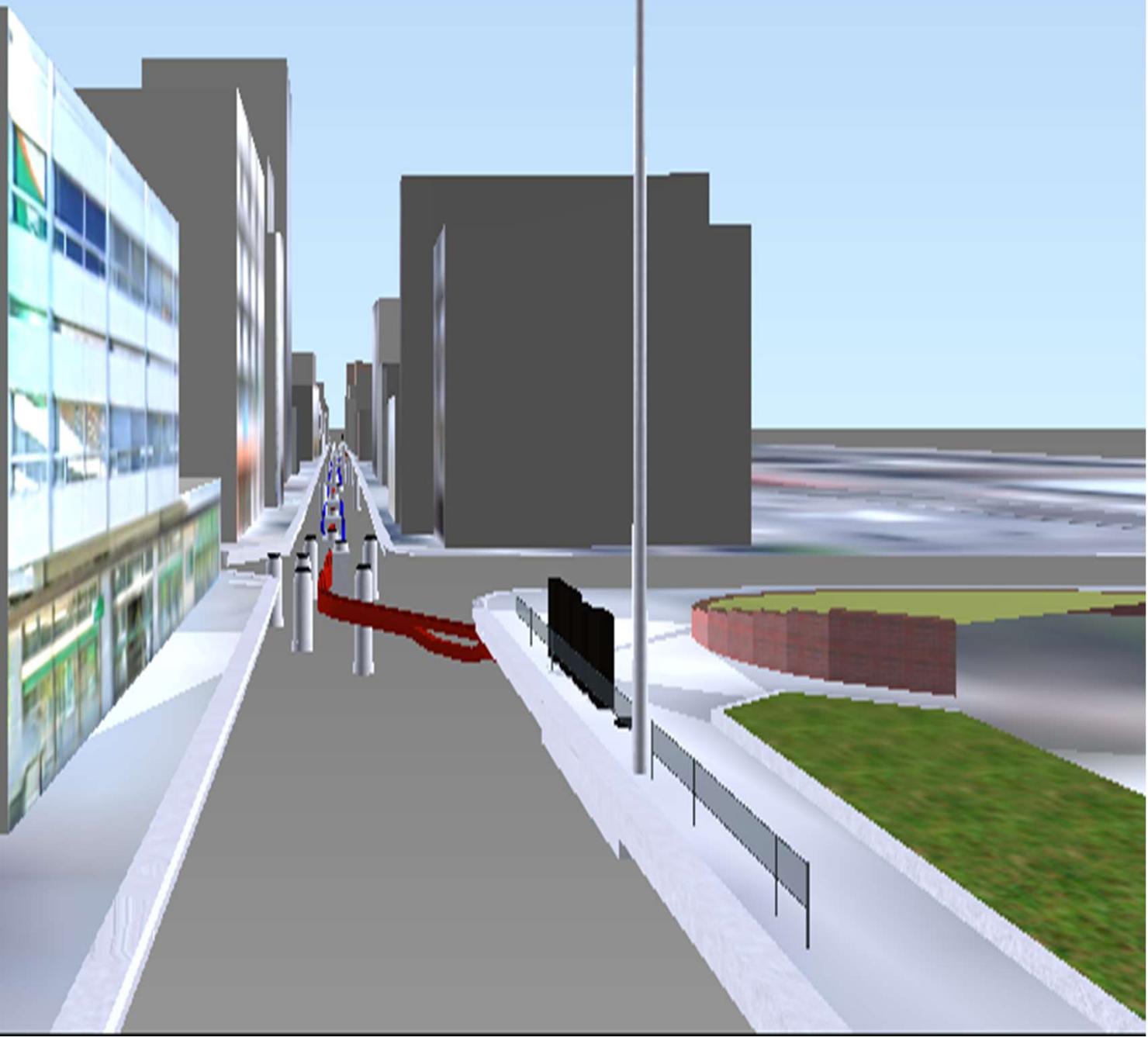




※図面は設計段階のものであり、今後変更する可能性がございます。

④駅交差点側歩道





全体図

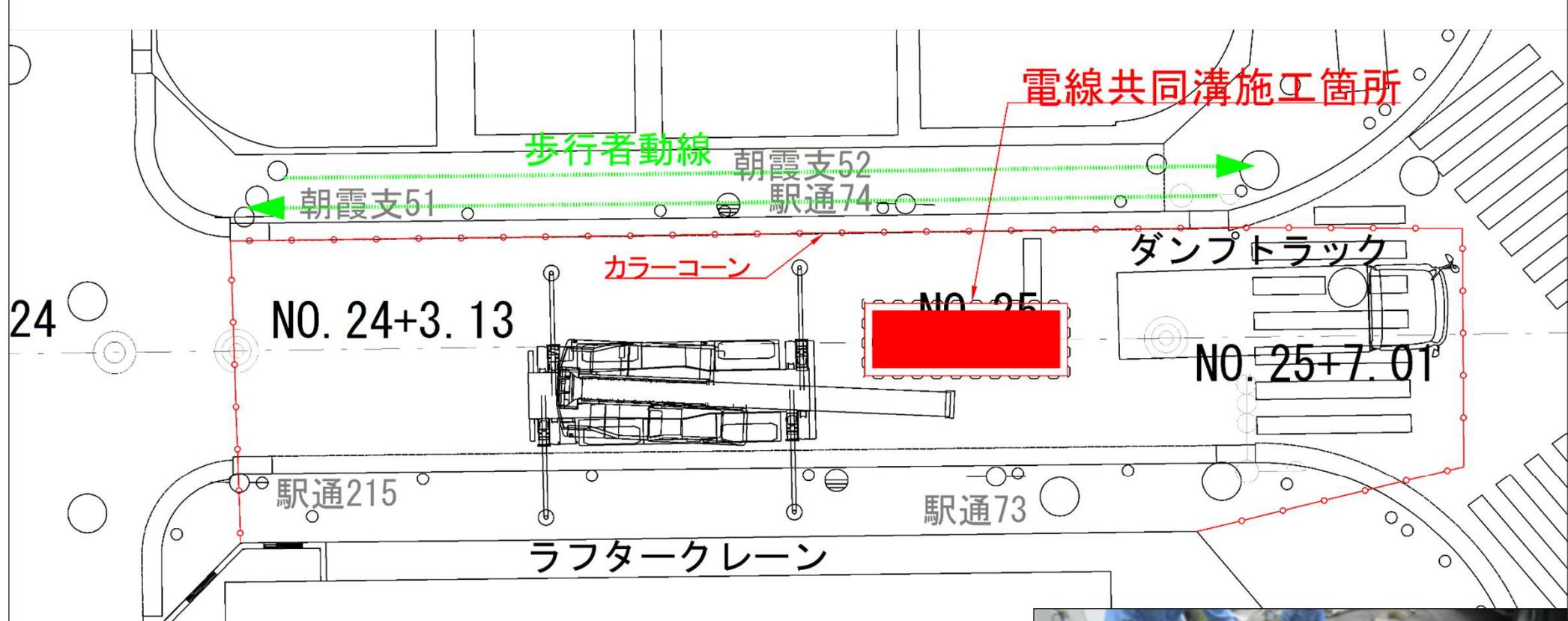


※図面は設計段階のものであり、今後変更する可能性がございます。

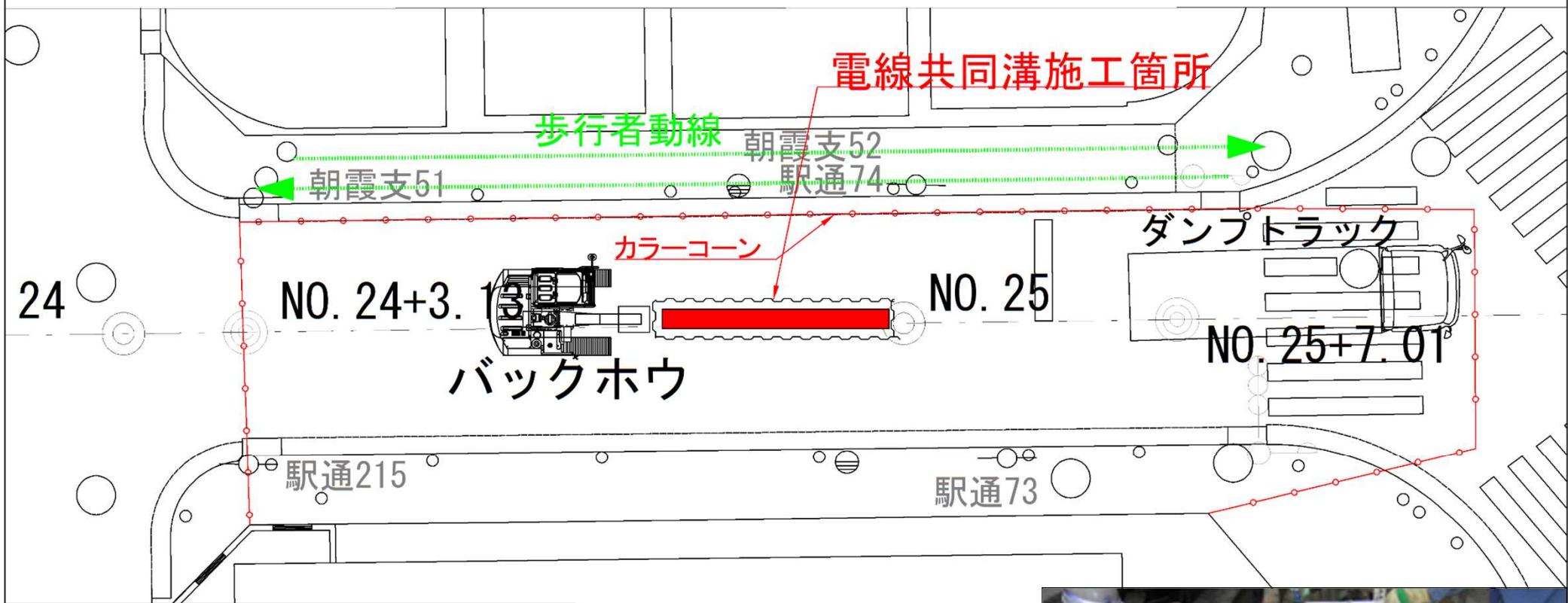
3.工事・事業のフロー について

施工イメージ

特殊部施工 (昼間)

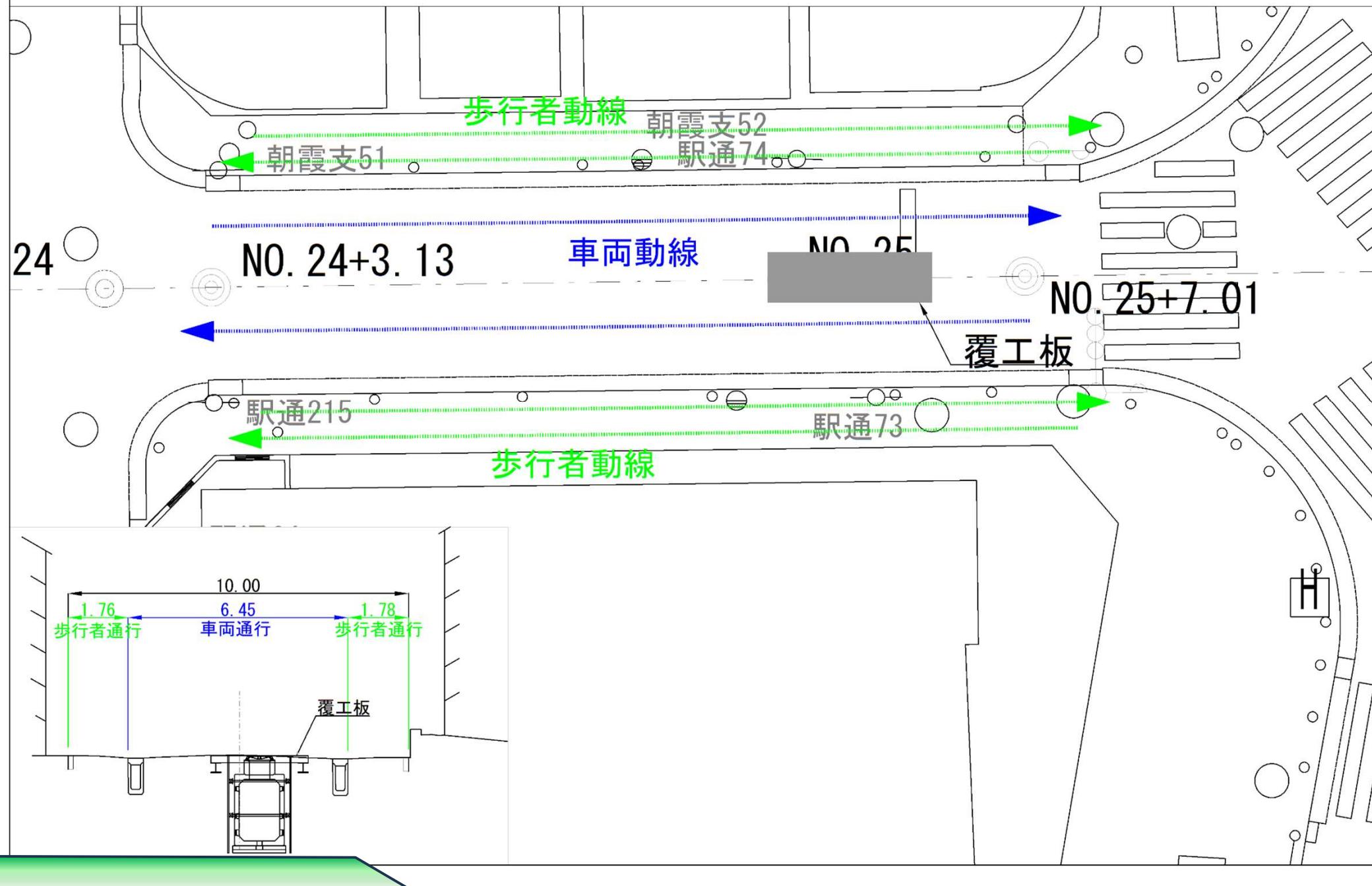


管路部施工 (昼間)



解放状況

解放 (夜間)



電線共同溝整備予定

電線共同溝 概算工程表

設計	詳細設計	令和7年度							
工事	試掘・移設		概ね2年						
	本体工事			概ね1、2年					
	引込工事				概ね2年				
	入線・抜柱					概ね1年			
	舗装復旧						概ね1年		